

## 2019年文学部教育学科研究活動報告

雑誌名	東洋大学文学部紀要. 教育学科編
巻	45
ページ	43-58
発行年	2020-03
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1060/00011968/">http://id.nii.ac.jp/1060/00011968/</a>



# 2019年文学部教育学科研究活動報告

(2019年1月～12月)

## 板橋雅則

<研究活動>

【論文】

1. 板橋雅則「学生の学校ボランティア経験を生かした教職科目『特別活動の指導法』の構想」大正大学人間学部教育人間学科『平成30年度大正大学における教育連携事業報告書』、2019年3月、51-61頁。

【学会発表】

1. 板橋雅則「総合学習に関する実践史的考察」教育実践学会第27回大会（白百合女子大学）、2019年12月1日。

<教育活動>

【学内】

(学部) 道德教育論、特別活動と総合的な学習の時間の指導法、教育学演習 I

【学外】

大正大学「道德教育の指導法」  
國學院大學栃木短期大学「道德教育の理論と実践」  
淑徳大学「特別活動の指導法」  
慶應義塾大学通信教育部「特別活動論」

<学会活動>

1. 関東教育学会（会計監査）
2. 教育史学会（会員）
3. 日本教育方法学会（会員）
4. 日本道德教育学会（会員）
5. 日本特別活動学会（会員）
6. 日本倫理道德教育学会（会員）
7. 教育実践学会（会員）

## 榎本淳子

<研究活動>

【著書】

1. 榎本淳子 (2019). 子どもの生活と学校 藤本典裕 (編著) 新版 (改訂二版) 教職入門—教師への道 (pp.15-36) 図書文化

【論文】

1. 榎本淳子・水野芳子・岡嶋良知・川副康隆他

(2019). 成人先天性心疾患患者の就業状況とその背景要因 日本小児循環器学会雑誌, 35, 18-26.

2. Moons, P., Luyckx, K., Dezutter, J., Kovacs, A. H., et al. (2019). Religion and spirituality as predictors of patient-reported outcomes in adults with congenital heart disease around the globe. *International Journal of Cardiology*, 274, 93-99.
3. Sluman, M. A., Apers, S., Sluiter, J. K., Nieuwenhuijsen, K., et al. (2019). Education as important predictor for successful employment in adults with congenital heart disease worldwide. *Congenital Heart Disease*, 14, 362-371.
4. Holbein, C. E., Veldtman, G. R., Moons, P., Kovacs, A. H., et al. (2019). Perceived health mediates effects of physical activity on quality of life in patients with a Fontan circulation. *American Journal of Cardiology*, 124, 144-150.

【学会発表】

1. 榎本淳子 (2019). ACHD診療に重要な心理の問題 第21回成人先天性心疾患学会総会・学術集会 (教育講演: 依頼)
2. 落合亮太・榎本淳子・城戸貴史・西朋子他 (2019). 人事採用担当者が認識する先天性心疾患患者の雇用可能性と合理的配慮 第55回日本小児循環器学会総会・学術集会
3. 水野芳子・立野滋・榎本淳子・森島宏子他 (2019). 成人先天性心疾患患者の肥満・やせの状況と心身関連因子 第55回日本小児循環器学会総会・学術集会

【講演】

1. 大人になった先天性心疾患患者への心理学的アプローチ 第21回成人先天性心疾患学会総会学術集会市民公開講座 (2019年1月:岡山)
2. おとなになりゆく患者さんのところを考える 第3回学んで救えるこどもの命PH Japanプロジェクト (2019年8月:東京)

## 【その他】

1. 榎本淳子 (2019). 成人期への移行：発達の視点から. CAMPUS HEALTH, 56 (1), 72-74.

## 【研究助成】

1. 科学研究費補助金基盤研究C (2017年度-2020年度) 「先天性心疾患患者のキャリア発達モデルと就労支援ツールの開発」(研究代表 榎本淳子)

## &lt;教育活動&gt;

## 【学内】

- (学部) 教育心理学, 生徒指導論, 生徒指導研究, 教育実習ⅠⅡ, 教育学演習ⅡA/ⅡB, 教育学演習ⅢA/ⅢB, 教育学卒論演習
- (大学院) 心理査定法特殊講義A 心理査定法特殊講義B

## &lt;学会活動&gt;

1. 日本教育心理学会 (会員, 年報編集委員)
2. 日本発達心理学会 (会員)
3. 日本心理学会 (会員)
4. 日本心理臨床学会 (会員)
5. 日本小児循環器学会 (会員)
6. 日本成人先天性心疾患学会 (会員, 評議員)

## 大江啓賢

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 大江啓賢 (2019). 特別支援学校教員養成における障害理解学習のためのメカニズムモデル作成の有効性—肢体不自由・病弱領域を中心とした検討—. 山形大学特別支援教育臨床科学研究所 研究紀要, 6, 7-12. (2019年3月)
2. 岡部萌花・大江啓賢 (2019). 話しかけ場面の分析を通じた重度・重複障害者の応答行動を促すかかわり方の検討. 山形大学特別支援教育臨床科学研究所 研究紀要, 6, 39-42. (2019年3月)
3. 酒井志帆・大江啓賢 (2019). 特別支援学校在籍児に対するサインを用いたコミュニケーション指導. 山形大学特別支援教育臨床科学研究所 研究紀要, 6, 43-46. (2019年3月)
4. 若林日那・大江啓賢 (2019). 施設利用者の興味・関心に着目した日中支援活動のありかた. 山形大学特別支援教育臨床科学研究所

研究紀要, 6, 59-62. (2019年3月)

## 【学会発表】

1. 大江啓賢 (2019). 肢体不自由児のアクティブラーニング. 日本特殊教育学会第57回大会 自主シンポジウム話題提供, 自主シンポジウム2-4 「特別支援教育のアクティブ・ラーニング(3)—「深い学び」に向けた授業改善と学習評価の在り方—」(2019年9月)

## 【講演等】

1. 山形県教育委員会「教育職員免許法認定講習」講師, 2019年8月7日～8日
2. 埼玉県教育委員会「教育職員免許法認定講習」講師, 2019年8月22日～23日
3. ひがしね保育園職員研修会講師, 2019年8月6日
4. ひがしね保育園職員研修会講師, 2019年11月22日

## &lt;教育活動&gt;

## 【学内】

- (学部) 特別支援教育概論Ⅰ(Ⅰ・Ⅱ部)・特別支援教育概論Ⅱ(Ⅰ・Ⅱ部)・病弱児の指導法(Ⅰ部)・特別支援学校教育実習Ⅰ(Ⅰ部)・特別支援学校教育実習Ⅱ(Ⅰ部)・教育学演習Ⅱ(Ⅰ・Ⅱ部)・教育学演習Ⅲ(Ⅰ・Ⅱ部)・教育学卒論演習(Ⅰ・Ⅱ部)

## 【学外】

- (学部) 山形大学地域教育文化学部「肢体不自由児の教育」「知的障害児の発達」「病弱児の教育」
- (学部) 信州大学教育学部「病弱児の心理・生理・病理」(オムニバス)「障害児自立活動演習Ⅱ」(オムニバス)
- (学部) 北海道教育大学函館校「重複障害児教育総論」(オムニバス)
- (大学院) 山形大学大学院教育実践研究科「肢体不自由児の理解と支援」「病弱児の理解と支援」

## &lt;大学・学部管理運営活動&gt;

1. 文学部HP担当委員 (学部)

## &lt;学会活動&gt;

1. 日本特殊教育学会 (会員)
2. 日本小児神経学会 (会員)
3. 日本育療学会 (会員)
4. 日本重症心身障害学会 (会員)
5. 日本小児保健協会 (会員)

6. 日本発達障害学会（会員）

7. 日本肢体不自由児協会（会員）

<社会的活動等>

1. ひがしね保育園 要支援児発達支援専門家（～現在に至る）

## 緒方 登士雄

<教育活動>

【学内】

（学部）国内特別研究のため担当せず

（大学院）発達障害児臨床心理研究特殊講義、教育学特殊研究、教育学研究指導

<大学・学部管理運営活動>

1. 東洋大学人間科学総合研究所発達臨床相談室相談員

<学会活動>

1. 日本心理臨床学会（理事）
2. 日本リハビリテーション心理学会（理事）
3. 日本臨床動作学会（常任理事・事務局長）
4. 日本教育心理学会（会員）
5. 日本発達障害学会（会員）
6. 日本心理学会（会員）
7. 日本特殊教育学会（会員）

<社会的活動等>

1. 東洋大学人間科学総合研究所発達臨床相談室相談員
2. 九州大学大学院人間環境学府附属「発達臨床心理センター」研究員
3. 青山学院大学大学院教育人間科学研究科附置心理相談室面接指導員
4. 日本臨床心理士会会員

<その他>

1. 特別予算研究「アウトリーチによる相談支援および相談員研修活動」によるモンゴル国訪問
2. 心理リハビリテーションの会全国大会公開講座「発達障害のある子どもの見方・かかわり方～動作法の視点から～」講師

## 勝田 光

<研究活動>

【著書】

1. 勝田光（2019）「読むことの指導方法 小説の指導」全国大学国語教育学会（編）『新たな時代の学びを創る 中学校・高等学校国語

科教育研究』東洋館出版社（pp.134-137）.

【論文】

1. 勝田光（2019）『『作家のように読む』論と『作文泥棒』の実践』日本国語教育学会（編）『月刊 国語教育研究』2019年9月号（569巻），4-9.
2. 勝田光（2019）「読者反応理論からみた文学教育における深い学び」全国大学国語教育学会（編）『国語科教育』第86集，5-7.

【学会発表】

1. シンポジウム（招待）文学教育における「深い学び」—新学習指導要領下における文学教育の方向性—全国大学国語教育学会 春期大会 第136回 茨城大会 2019年6月1日（土）茨城大学水戸キャンパス.
2. Poster Session, *Incorporating reading workshop into the Japanese Curriculum: How it helps students to be an independent reader.* International Literacy Association 2019 Conference, New Orleans, LA, October 11.

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費助成事業（若手研究（B）2017-2019年度）「国語科におけるブッククラブの指導方法による授業研究：物語創作活動の効果に着目して」（研究代表者：勝田光）
2. 日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究（C）2019-2023年度）「グローバル社会・多言語多文化社会に対応する日本の国語教育の再構築の基礎的研究」（研究代表者：長田友紀）

<教育活動>

【学内授業担当】

（学部）国語科指導法ⅠⅡ、初等科国語、初等教科教育法（国語）、教育実習、教職実践演習、教育学演習ⅡⅢ、教育学卒論ゼミナール

（通信）国語科指導法Ⅱ

（大学院）国語科教育研究演習

<大学・学部管理運営活動>

1. 文学部カリキュラム検討委員会（委員）
2. 文学部グローバル化推進委員会（委員）

<学会活動>

1. 全国大学国語教育学会（研究部門委員 2019

年4月～2022年3月)

2. 日本国語教育学会 (会員)
3. 日本読書学会 (会員)
4. 人文科教育学会 (会員)
5. 筑波大学教育学会 (会員)
6. 九州国語教育学会 (会員)
7. 関東教育学会 (会員)
8. 長崎大学国語国文会 (会員)
9. International Literacy Association (会員)
10. Literacy Research Association (会員)

## 桂 直 美

<研究活動>

【論文等】

1. 「教材とその研究」根津朋実・樋口直宏編、『(改訂版) 教育内容・方法』培風館、2019年、pp.115-123

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究(C)) (2018年度-2021年度)「教師教育における美的教育プログラム—協同表現の教育の授業構成—」(研究代表者)
2. 日本学術振興会2019年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金、研究成果公開促進費)

<教育活動>

【学内担当授業科目等】

(学部) 初等科音楽、初等教科教育法 (音楽)、教育課程論、教育学演習2・3、教育実践研究B、大学生として学ぶ、卒論ゼミナール

(大学院) 授業分析論特殊講義、教育学研究指導XI、音楽科教育研究演習

<大学・学部管理運営活動>

教育学科長・初等教育専攻長

<学会活動>

【所属学会】

1. 日本教育方法学会 会員
2. 日本教育学会 会員
3. 日本音楽教育学会 会員
4. 日本デュイ学会 会員、
5. 日本カリキュラム学会 会員
6. 日本学校音楽教育実践学会 会員
7. 日本民俗音楽学会 会員
8. 日本質的心理学会 会員
9. 日本臨床教育学会 会員

10. American Educational Research Association 会員

## 北 澤 俊 之

<研究活動>

【論文】

1. 「身近な事物をとらえ直すためのプログラムの研究」—アート・ゲームの実践を通して—『日本美術教育研究論集』第52号, pp.121-130, 2019.3

【展覧会】

「WAの会展」(グループ展)、ギャラリー2104 (南青山)、2019.8.27～9.1

【研究助成】

1. 科学研究費基盤研究 (C) (平成28～30年度、本年度まで延長)「身近な世界との関係を編み直すための造形教育プログラムの開発」(研究代表者 北澤俊之)
2. 2019年度井上円了記念研究助成(刊行の助成)

<教育活動>

(学部) 初等図画工作 (2コース・0.5コマ)、初等教科教育法 (図画工作) (2コース・0.5コマ)、授業論 (0.5コマ)、初等教育実習 I II (0.5コマ)、教育学演習 II AB・III AB (1部・1コマ)、大学生として学ぶ (1部・0.5コマ)、教職実践演習 (1部・0.5コマ)、初等教育実践研究BA (0.5コマ)

(大学院) 図画工作・美術教育研究演習 (0.5コマ) (通信) 教育実習 I II (0.5コマ)

<学会活動>

1. 日本美術教育連合 (事務局長)
2. 造形教育センター (アーカイブ委員)
3. 全国大学造形美術教育教員養成協議会(会員)
4. 美術科教育学会 (会員)
5. 大学美術科教育学会 (会員)

<社会的活動等>

1. 2019年度 文京区立柳町小学校学校関係者評価委員会委員長
2. 開隆堂出版株式会社 図画工作教科書編著者
3. 江戸川区小学校教育研究会 図工部会講師(大田区立新堀小学校、2019.9.13)
7. 毎日新聞社主催全国児童画コンクール審査員 (2019.10.19)
8. 家の光協会主催世界こども図画コンテスト審査員 (2019.10.26)



**吉 良 直**

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 吉良直・栗田佳代子・吉田墨 (2019) 「米国研究大学における大学院生対象のティーチング・ポートフォリオ／ステートメント作成支援に関する研究—日本への示唆—」『東洋大学文学部紀要』第72集教育学科編XLIV、2018年度、72(44)、1-8頁、2019年03月刊行。
2. Kira, Naoshi. (2019) Dewey's Democratic Conception in Education and Democratic Schooling: Lessons from the United States for Japan. *Educational Studies in Japan: International Yearbook of JERA*, No. 13, pp.56-66 (日本教育学会英文学会誌)。

## 【学会発表】

1. 「著者の真意を探る—スタンダードにもとづく改革の評価と政策提言に着目して」 「シンポジウム：米国初等中等教育法50年の再考—J. ジェニングズ著『アメリカ教育改革のポリテイクス』の翻訳を終えて—」 アメリカ教育史研究会全体会(東北大学、2019年1月14日)。
2. 「米国初等中等教育法50年の成果と課題—スタンダードにもとづく改革の評価と政策提言からみえる著者の信念—」 「書評会：ジャック・ジェニングズ著『アメリカ教育改革のポリテイクス—公正を求めた50年の闘い—』」 日本教育行政学会国際交流委員会主催研究会(東洋大学、2019年3月17日)。
3. Analysis of Democratic Schooling in the United States from Deweyan Perspectives: Implications for Japan, Paper presented at the 10th World Education Research Association (WERA) Focal Meeting at Gakushuin University in Tokyo, August 8th, 2019 (世界教育学会第10回大会、日本教育学会第79回大会での発表)。

## 【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B)) 「教育に関するリフレクションと業績評価に資するティーチング・ステートメントの研究」 研究分担者(研究代表者:栗田佳代子)

## &lt;教育活動&gt;

## 【学内】

(学部) 「教育学概論」(1部初等教育専攻、人間

発達専攻、2部)、「社会文化史(西洋)／教育史学説B」(1部、2部)、「教育思想」(1部、英語開講)、「教育思想」(2部)、「教育学演習I」(人間発達専攻)、「教育学演習II A・B」、「教育学演習III A・B」、「教育学卒論演習A・B」

(大学院) 「教育学説研究演習A・B」、「教育学研究指導V II」、「教育学研究指導V II A・B」、「教育学特殊研究II」、「教育学特殊研究II A・B」、「教育学研究指導II」、「教育学研究指導II A・B」

## &lt;学会活動&gt;

1. 日本教育学会 会員  
Proposal Review for the 10th World Education Research Association (WERA) Focal Meeting at Gakushuin University in Tokyo, August 6th-8th, 2019 (世界教育学会第10回大会発表プロポーザル審査)。
2. 日本比較教育学会 会員
3. 日本教育哲学会 会員
4. 日本デューイ学会 会員
5. 日本教育行政学会 会員
6. 大学教育学会 会員、国際委員会委員(2017年8月～)
7. アメリカ教育史研究会 会員
8. Comparative and International Education Society (CIES) 会員

**栗 原 久**

## &lt;研究活動&gt;

## 【学会発表】

1. 猪瀬武則・山根栄次・栗原久・宮原悟・高橋桂子・服部一秀・小貫篤 「主権者教育としての経済教育内容開発—選挙の経済学と『法と経済学』事例研究—」 全国社会科教育学会第68回全国研究大会(鳥根大会)、2019年11月9日。

## 【研究助成】

1. 研究分担者・栗原久 「18歳選挙権時代の政策決定能力を育成するAL志向の経済教育プログラム開発」(研究代表者・猪瀬武則日本体育大学教授、平成29～31年度、基盤研究(B))
2. 研究分担者・栗原久 「新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究」(研究代表者・谷田部

玲生桐蔭横浜大学教授, 平成29~31年度, 基盤研究 (B))

#### 【その他】

1. 栗原久「『解説』社会科・公民科教育の観点から」日本公認会計士協会編『会計基礎教育の歴史と現況』日本公認会計士協会出版局, 2019年1月, 176-181頁。
2. 栗原久「キーワードでみる学習指導要領改訂のポイント『公共』—ポイントはここだ」原田智仁編著『平成30年版学習指導要領改訂のポイント 高等学校地理歴史・公民』明治図書, 2019年3月, 30-33頁。
3. 栗原久「高校公民科新科目『公共』における経済・金融の学習～思考実験の例『最後通牒ゲーム』」日本証券業協会「先生向けメールマガジン」  
[http://www.jsda.or.jp/manabu/web\\_curriculum/mailmagazine.html](http://www.jsda.or.jp/manabu/web_curriculum/mailmagazine.html), 2019年4月11日。
4. 栗原久「経済単元からの出題は?—変わる高校入試問題—」日証協「先生向けメールマガジン」2019年10月24日。

#### 【講演会等】

1. 栗原久「新科目『公共』とは」大阪弁護士会「新科目『公共』について～弁護士と考える授業」, 2019年2月23日。
2. 栗原久「消費者教育推進の背景と意義及び小学校で留意すべき事項」岩手県立県民生活センター「平成31年度小中学校消費者教育研修会」, 2019年6月18日。
3. 栗原久「新学習指導要領で求められる金融教育」日本証券業協会「平成31年度教育関係者向け『金融・経済セミナー』」, 2019年8月6日。
4. 栗原久「学校における金融教育の必要性について」日本証券業協会「教育関係者向け金融・証券体験プログラム」, 2019年8月8日。
5. 栗原久「消費者教育推進の背景と意義及び中学校で留意すべき事項」岩手県立県民生活センター「平成31年度小中学校消費者教育研修会」, 2019年8月20日。
6. 栗原久「公民(科)教育の立場から主権者教育のあり方を考える」文部科学省「主権者教育推進会議(第8回)」, 2019年9月17日。
7. 栗原久「18歳選挙権・成年時代の地歴・公民

科教育—新科目「公共」を中心として—」愛知県立学校地歴・公民科校長会, 2019年11月4日。

8. 栗原久「今次学習指導要領改訂と金融リテラシー教育」実践女子大学研究成果公開促進費助成事業国際シンポジウム「日本型金融リテラシー教育のあり方を探る」, 2019年12月1日。

#### <教育活動>

##### 【学内】

(学部) 教育学演習Ⅰ, 教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ, 教育学卒論ゼミナール, 社会・公民指導法Ⅰ・Ⅱ, 教育実習Ⅰ・Ⅱ, 教職実践演習, 経済と教育

(大学院) 学習指導論特殊講義・教育学研究指導Ⅴ, 教育学特殊研究・教育学研究指導

(通信) 教職実践演習

##### 【学外】

明治大学「社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ」

#### <大学・学部管理運営活動>

1. 文学部キャリア就職推進委員会委員
2. 教職センター運営委員

#### <学会活動>

1. 日本社会科教育学会評議員, 学会誌編集長
2. 日本公民教育学会会長

#### <社会的活動等>

1. 日本証券業協会「金融・証券教育支援委員会」委員。
2. 日本公認会計士協会「会計基礎教育推進会議 会計リテラシー・マップ・教材研究会」部会員。

## 齋藤里美

#### <研究活動>

##### 【論文】

1. 松原聡・齋藤里美・藤井大輔・小河智佳子・宇佐美駿「学習者用デジタル教科書の効果的使用についての研究—佐賀県武雄市のデジタル教科書実証研究事業を中心に—」『現代社会研究』第16号, pp.51-64, 2019年3月。

##### 【分担執筆】

1. 「多民族社会・移民社会における異文化間教育—シンガポールの社会科教材から考える」西山教行・大木充編『グローバル化のなかの異文化間教育—異文化間能力の考察と文脈化

の試み—』明石書店、pp.200-216、2019年3月。

2. 「学習指導」、藤本典裕（編著）『新版（改訂二版）教職入門』図書文化社、pp.38-62、2019年2月。

#### 【学会発表】

1. 「外国にルーツをもつ子どもと教師教育改革—OECD「多様性のための教師教育」からみた日本の教師教育政策—」、日本教師教育学会第29回大会課題研究2「教師教育改革の国際動向と比較研究の課題」、2019年9月22日、岡山大学。

#### 【講演等】

1. 「移民国家の経験に学ぶ—外国人と共生する社会へのヒント—」、慶應アスピレーションズ主催講演会、2019年3月30日、国際文化会館。
2. 「人工知能時代における『学力』と『学ぶ意味』」、金融経済教育研究会、2019年10月19日、名証ホール。
3. 「移民第二世代と継承語教育」、独立行政法人教職員支援機構主催「共生社会を実現する教育研究セミナー」、2019年12月4日、つくば中央研修センター。

#### 【その他】

1. 「『移民第二世代』と継承語教育—ある文化の担い手として育つ—」『NITニュース』独立行政法人教職員支援機構、2019年12月13日。

#### 【研究助成】

1. 日本学術振興会 2019～2022年度科学研究費補助金（基盤研究A 一般）「中等教育の生徒が早期離学・中退・進路変更する要因と対策に関する国際比較研究」（課題番号19H00618）（研究代表者 園山大祐）

#### <教育活動>

#### 【学内】

（学部）学校教育社会学（1部、2部）、比較社会論（1部、2部）、教育学演習ⅡA/ⅡB（1部）、教育学演習ⅢA/ⅢB（1部）、教育学卒論ゼミナールA/B、教職総合演習（2部）

（大学院）学校教育研究演習A/B 教育学研究指導Ⅳ（以上博士前期課程）、教育学特殊研究ⅤA/ⅤB、教育学研究指導（博士後期課程）。

#### <大学・学部管理運営活動>

1. 大学院文学研究科教育学専攻長
2. 大学院文学研究科委員会 委員
3. 国際教育センター「日本語・日本文化教育科目専門委員会」および「教員資格審査委員会」委員
4. 学修成果指標検討会議 委員
5. 東洋大学アジア文化研究所運営委員、研究年報編集委員
6. 応援指導部 部長

#### <学会活動>

1. 教育目標・評価学会 理事
2. 日本教育学会会員（研究推進委員会副委員長）
3. 日本教育社会学会会員
4. 日本比較教育学会会員
5. 日本教師教育学会会員
6. 人工知能学会会員

## 下 田 好 行

#### <研究活動>

#### 【論文】

1. 下田好行「ICT・メディアを利用して教師としての情報活用能力を育成する試み—新聞記事データベースを利用したアクティブ・ラーニングを通して—」『日本教材学会年報』平成28年度、2019.8、pp.105-111。
2. 下田好行「『主体的・対話的で深い学び』における深さの捉え方—人間の認識活動に焦点をあてて—」『東洋大学文学部紀要第72集教育学科編XLIV』、2019年3月、pp.89-98。

#### 【著書】

1. 下田好行「授業を創造する教師」吉田武男編著『教職論』ミネルヴァ書房、2019年4月、pp.115-127。
2. 下田好行「特別活動で育成を目指す資質・能力」日本特別活動学会編『キーワードで拓く・新しい特別活動—平成29年版・30年版学習指導要領対応』東洋館出版社、pp.8-9。

#### 【その他】

1. 「下田好行「主体的・対話的で深い学び—深い学びをどう創るか—」『関東教育学会紀要』第46号、2019.10、pp.63-64。
2. 下田好行「教師の主体性と発想の転換が必要」『教育新聞』2019.4.25
3. 厚生労働省「児童福祉文化財年報—社会保障審議会推薦児童福祉文化財目録—」（平成30



年度)作成

4. 厚生労働省『子どもたちに読んでほしい本』(平成30年度児童福祉文化財推薦)厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財(2019年度版)作成
5. 下田好行「関東教育学会第66回大会報告」『関東教育学会会報』No. 54、関東教育学会、2019.3、pp.2-3.

#### 【研究発表】

6. 下田好行・比嘉俊・岡島伸行「『主体的・対話的で深い学び』—そのカリキュラムと教材—」『日本教材学会第31回大会研究発表発表大会研究発表要旨集』東京学芸大学、2019.10.20、pp.122-123.

#### <教育活動>

##### 【学内】

- (学部Ⅰ部)教育方法論(教育学科:初等教育・人間発達)、教育学演習Ⅱ・Ⅲ・教育学卒論演習  
 (教育学科Ⅱ部)教育学演習Ⅱ・Ⅲ・教育学卒論演習  
 (教職課程)教育方法論(日本文)、教育方法論(社会学部)教職実践演習(中・高)  
 (大学院)学習指導論研究演習、教育学研究指導Ⅷ  
 (通信)教育実践演習(中・高)

##### 【学外】

文教大学(教職課程)「教育課程論」

#### <学会活動>

1. 関東教育学会 理事
2. 日本教材学会 理事
3. 日本国語教育学会 理事
4. 日本教材学会「主体的・対話的で深い学びをどう創るか」プロジェクト 委員長
5. 日本倫理道德教育学会 監査

#### <社会的活動>

6. 厚生労働省 社会保障審議会 福祉文化分科会 委員 出版物委員会 委員長
7. 平成29年度児童福祉文化賞審査委員(一般財団法人・児童健全育成推進財団)
8. 品川区立上神明小学校 校区教育協働委員会 委員長
9. 日本教材文化研究財団 評議員

## 篠崎 信之

#### <研究活動>

##### 【著書】

1. 篠崎信之(2019)教育相談 藤本典裕(編著)新版(改訂二版)教職入門 図書文化社、pp.82-89.(2019年2月1日)
2. 篠崎信之(2019)教育相談・進路相談の方法・技術 横山明子(編著)生徒指導・進路指導・キャリア教育論 図書文化社、pp.115-134.(2019年3月10日)

##### 【その他】

1. 篠崎信之(2019). 巻頭言—編集者としてのエリック・バーン—交流分析研究, 第44巻第1号, pp.2-3 (2019年6月30日)

#### <教育活動>

##### 【学内】

- (学部)教育相談の理論と方法(Ⅰ・Ⅱ部)、教育相談(Ⅰ・Ⅱ部)、教育学演習Ⅱ・Ⅲ(Ⅰ部)、教育学卒論演習(Ⅰ部)、教育実習Ⅰ・Ⅱ(Ⅱ部)、教職実践演習(Ⅰ部)、全学総合IB2(Ⅰ部)  
 (大学院)カウンセリング実習、臨床教育心理治療特殊講義

(通信)教育相談

#### <大学・学部管理運営活動>

1. 東洋大学教職センター副センター長
2. 通信教育委員会委員
3. 大学院文学研究科委員会委員
4. 人間科学総合研究所紀要編集委員会委員

#### <学会活動>

1. The International Transactional Analysis Association (Regular Member、Certified Transactional Analyst)
2. 日本交流分析学会(評議員、『交流分析研究』編集委員)
3. 日本TA協会(会員)
4. 日本心理学会(会員)
5. 日本パーソナリティ心理学会(会員)
6. 日本健康心理学会(会員)
7. 日本感情心理学会(会員)
8. 日本キャリア教育学会(会員)

**白土厚子**

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 白土厚子 (2019) 「We Can! を使ったプロジェクト重視の英語学習の実践」. JES Journal, No. 19, 4-19.
2. Atsuko Shirado (2019). A possible project-based approach to elementary school English education: Teaching four skills to sixth graders. Tsuda Inquiry, No. 40, 1-19.
3. 白土厚子 (2019) 「小学校教員を目指す学生へのプロジェクト重視の英語の授業実践—自己決定理論の視点から—」『津田塾大学紀要』No. 51, pp. 251-272.

## 【学会発表】

1. 白土厚子 「We Can! を使った1年間のプロジェクト重視の英語学習—移行期6年生の1年間の実践—」 小学校英語教育学会 (JES) 第19回北海道大会 (北海道科学大学) 2019年7月
2. 白土厚子 「We Can! を活用した移行期2年目6年生の実践—移行期1年目の同じプロジェクト重視の英語学習と比較する—」 関東甲信越英語教育学会 (KATE) 第43回神奈川研究大会 (横浜国立大学) 2019年8月
3. 白土厚子 「1年間のWe Can! を使った移行期5年生の実践—プロジェクト重視の英語学習—」 全国英語教育学会 (JASELE) 第45回弘前研究大会 (弘前大学) 2019年8月
4. 白土厚子 「移行期2年目の6年生への言語的評価の試み—意味のある文脈でのコミュニケーションを意識して—」 日本児童英語教育学会 (JASTEC) 第39回秋季研究大会 (大阪成蹊大学) 2019年10月

## 【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費助成事業 (若手研究2018-2019年) 「プロジェクト重視の英語学習による小学校英語の4技能統合への実践」 (研究代表者: 白土厚子)

## &lt;教育活動&gt;

## 【学内】

(学部) 小学英語教育法、小学英語特講、大学生として学ぶ (1部、2部)、教育学演習 I (1部、2部)、授業論、教職実践演習、東洋伝統文化講座 (通訳翻訳補助)

## 【学外】

1. Composition I (津田塾大学)
2. Reading I / II (神奈川大学)

## &lt;その他&gt;

1. 香港公開大学短期受け入れプログラム「日本での英語教育」(東洋大学) 2019年6月6日
2. 高大連携講座「グローバル人材として活躍するために—英語教育の視点から—」(麴町学園女子高等学校) 2019年9月10日

## &lt;学会活動&gt;

1. 日本児童英語教育学会 (会員)
2. 全国英語教育学会 (会員)
3. 関東甲信越英語教育学会 (会員)
4. 小学校英語教育学会 (会員)
5. 津田塾大学言語文化研究所早期英語教育研究会 (特別研究員)
6. 津田塾大学大学院英文学会 (会員)

## &lt;社会的活動&gt;

1. 東京都小平市立小平第十五小学校英語アドバイザー

**鈴木一成**

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 「中学校における理科授業の実践例—第2学年 化学変化と熱—」, 化学と教育, vol. 62, No. 1, pp.16-20, 日本化学会, 2019【査読あり】【招待あり】
2. 「芸術教育による拡散的思考を活かした教科横断的な取り組みへの一考察」, 文京学院大学人間学部研究紀要, vol. 20, pp.9-18, 2019
3. 「学習指導要領における理科授業をデザインする枠組みについての一考察—『科学的に探究する力』を育成する理科授業デザイナー—」, 東洋大学文学部紀要教育学科編, 第72集 (No. 72), pp.59-67, 2019

## 【学会発表】

1. 「主体的・対話的で深い学びを実践する視点に関する研究 (1)—マーフィーらの教授法の枠組み (IIF) を用いた学習の目的設定について—」 (竹田大樹と共著), 日本理科教育学会全国大会
2. 「主体的・対話的で深い学びを実践する視点に関する研究 (2)—子どもの話し合いを促進する教師の支援について—」 (竹田大樹と

共著)、日本理科教育学会全国大会

3. 「主体的・対話的で深い学びの精緻化に向けた実践的研究(1)―教授法の枠組み(IIIF)を援用した学習の目的設定について―」(竹田大樹と共著)、日本理科教育学会関東支部大会
4. 主体的・対話的で深い学びの精緻化に向けた実践的研究(2)―批判的分析的思考を涵養するための教師の振る舞いについて―、日本理科教育学会関東支部大会

#### 【研究会報告・講演】

1. 鈴木一成、東京学芸大学附属竹早地区公開研究会「学びを深める場を作る」(共同研究者)、東京学芸大学附属竹早地区(幼稚園・小学校・中学校)、2019年1月18日
2. 鈴木一成、東京学芸大学附属竹早中学校校内研究会、東京学芸大学附属竹早中学校、2019年2月20日
3. 鈴木一成、「児童・生徒の主体性を生かした授業への改善」(講師)、小中連携研究発表会、足立区立栗島小学校・栗島中学校、2019年2月20日
4. 鈴木一成、「学びを深める場とその手立て」(講師)、東京学芸大学附属竹早地区(幼稚園・小学校・中学校)連携授業研究会、東京学芸大学附属竹早地区(幼稚園・小学校・中学校)、2019年6月14日
5. 鈴木一成、「月と太陽」(講師)、文京区立明化小学校校内研究会、2019年9月18日
6. 鈴木一成、「現代的な学校教育における評価について」(講師)、ハピラル講演会、第3キッズメンビル、2019年10月4日
7. 鈴木一成、「学びを深める場とその手立て」(講師)、東京学芸大学附属竹早地区(幼稚園・小学校・中学校)連携授業研究会、東京学芸大学附属竹早地区(幼稚園・小学校・中学校)、2019年10月25日
8. 鈴木一成、「学びを深める場とその手立て」(研究協力者)、東京学芸大学附属竹早地区(幼稚園・小学校・中学校)公開研究会、東京学芸大学附属竹早地区(幼稚園・小学校・中学校)、2019年11月16日

#### 【その他】

1. 「遮光板による太陽の観察を基にした太陽の直径の測定」、理科の教育2019年2月号(799

号)、東洋館出版、pp.58-59

#### 【学内】

(学部) 初等教育実践研究AB、初等教科教育法(生活)、初等科理科、教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む) 2、初等教科教育法(理科)、教育学演習ⅡA12、教育学演習ⅡB12  
(大学院) 環境教育論特殊講義、理科教育研究演習

#### <学会活動>

1. 日本理科教育学会(広報委員・査読委員)
2. 臨床教科教育学会(査読委員)

#### <社会的活動等>

1. 東京学芸大学附属幼稚園竹早園舎・竹早小学校・竹早中学校連携研究会講師
2. 荒川区教育研究会理科部会講師
3. 文京区立明化小学校校内研究会講師
4. 文京区立明化小学校学校関係者評価委員会委員長
5. 足立区立栗島小学校・中学校連携研究会講師

#### 須田将司

#### <研究活動>

#### 【論文等】

1. 「第8章 教師は子どもとどのように向き合ってきたのか」平田論治編『日本教育史』ミネルヴァ書房、2019年1月、137～154頁
2. 「第五章近代 第四節教育(明治～昭和戦前)」 「第六章現代 第四節教育(昭和戦後～平成17年度)」福島県南相馬市『原町市史』第2巻通史編2近代・現代、2018年12月(頒布は2019年1月)、201～260頁、463～524頁
3. 「第2章第4節学級経営」「第3章教師に求められる資質・能力」藤本典裕編『新版(改訂二版)教職入門―教師への道―』図書文化社、2019年2月、90～114頁
4. 「中央教化団体連合会刊・雑誌『常会』(1939-1944)の所蔵状況・目次一覧」『東洋大学文学部紀要』第72集教育学科編XLIV、2019年3月、19～57頁
5. 「恐慌から戦時に至る地方教育会の動向に関する一考察―学務部・郡教育会・児童常会に着目して―」梶山雅史編『近代日本教育会史研究 新装版』明誠書林、2019年5月、267～302頁(初版は学術出版会から2007年刊行。新装版に際し、本文・注に一部加筆修正)

6. 「解説」『復刻版『教化運動』解説・総目次・索引』不二出版、2019年9月、3～32頁

【学会発表】

1. 「内閣直属教育諮問機関による教育政策の駆動と地域教育の変容—臨時教育会議以降の「教化」と「錬成」の広がり—に焦点を当てて—」東北教育学会第76回大会シンポジウム「戦間期の教育政策変容から現代を問う」（依頼）、東北大学、2019年3月16日
2. 「地域住民の眼からみた中等教育史—福島県『原町市史』『相馬市史』での試行錯誤—」中等教育史研究会第65回研究会「自治体史編纂と中等教育史研究」（依頼）、大東文化会館、2019年5月24日
3. 「1930年代の埼玉県における「新興報徳運動」と報徳教育—同時代の先行・並行事例との比較を通して—」全国地方教育史学会第42回大会、大東文化会館、2019年5月26日
4. 「北海道における「新興報徳運動」と報徳教育—地方官僚遠山信一郎のもたらした展開に着目して—」教育史学会第63回大会、静岡大学、2019年9月28日
5. 「秋田県教育委員会・県市町村教育研究所・教育研究会の教育研究活動」教育史学会第63回大会コロキウム、静岡大学、2019年9月29日

【研究報告書・書評など】

1. 「はしがき」研究代表：須田将司『近現代日本の地方教育行政と「教員育成コミュニティ」の特質に関する総合的研究 中間報告書（I）』、2019年3月
2. 須田将司・国谷直己「昭和戦後期地方教育団体刊行物一覧（その1）」同上書
3. 「図書紹介：中央教化団体連合会『教化運動【復刻版】全6巻・別冊1』」全国地方教育史学会『地方教育史研究』第40号、2019年5月、51～56頁
4. 「書評：吉川卓治『「子ども銀行」の社会史—学校と貯金の近現代—』」教育史学会『日本の教育史学』第62集、2019年9月、160～162頁
5. 梶山雅史・須田将司「コロキウム報告 戦後の教員社会はいかに再編されたか—教育情報回路としての教育会の総合的研究第15回—」教育史学会『会報』第126号、2019年11月25日、

12～13頁

【研究助成】

1. 日本学術振興会 2018～2020年度科学研究費補助金（基盤研究B）課題番号18H00980「近現代日本の地方教育行政と「教員育成コミュニティ」の特質に関する総合的研究」（研究代表者）

<教育活動>

（大学院）教育学特殊研究Ⅻ、比較教育史演習研究

（サークル）東洋大学居合道研修会顧問

<大学・学部管理運営活動>

1. 国内特別研究

<学会活動>

1. 教育史学会（理事）
2. 日本教育学会（会員）
3. 全国地方教育史学会（常任幹事）
4. 日本教育史研究会（会員、2019年8月24～25日サマーセミナー司会）
5. 日本教育史学会（幹事）
6. 日本教師教育学会（会員）
7. 関東教育学会（会員、大会分科会司会）

<社会的活動等>

【研究会報告・講演など】

1. 「主体的・対話的で深い学びとは何か」東京都文京区立明化小学校「文京区教育ビジョン・教科の授業地区公開講座」講演会、2019年2月23日
2. 「国立大学附属教育研究所の機関誌分析—宮崎大学と静岡大学の事例—」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会、2019年3月26日
3. 「しつけ、修身、道徳、生きる力を身につける—戦前期の「報徳教育」を読み直す—」大倉山講演会「こころを磨き、からだを鍛える」大倉山精神文化研究所、2019年6月15日

関 直 規

<研究活動>

【著書・論文等】

1. 「社会教育・生涯学習の対象と方法」手打明敏・上田孝典編著『社会教育・生涯学習』（吉田武男監修、Minervaはじめて学ぶ教職第7巻）ミネルヴァ書房、2019年1月、pp.59-71.
2. “Expanding Community Learning Centres



in London, A Global City: Oasis within the International District” (単著)、『東洋大学文学部紀要』第73集、教育学科編XLIV、2019年3月、pp.69-74.

3. 「イギリス成人教育における地域人材の確保と講師の質向上に関する一考察—ロンドン・カウンティ・カウンシルの『講師パネル』制度を中心に—」(単著)『東洋大学大学院紀要』第55集、2019年3月、pp.237-248.
4. イギリス・コミュニティ教育実践の一展開—ロンドンの成人・地域学習の歴史的検討—(単著)『日本公民館学会年報』第16号、2019年11月、pp.56-63.

#### 【研究発表】

1. 「大都市貧困地域における生涯学習の格差是正と支援方策—英国タワー・ハムレッツ区の改革動向の検証—」(東京大学大学院教育学研究科生涯学習基盤経営コース、One-Day Seminar 2019、於東京大学、2019年9月17日)

#### 【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究(C)(研究代表者関直規)「学習支援体制の構築における地域人材の発掘・活用に関する日英比較史研究」(16K04568)(2016年度～2018年度).
2. 日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究(C)(研究代表者関直規)「大都市貧困地域における成人・青少年の学習支援史に関する日英比較研究」(19K02459)(2019年度～2022年度).

#### 【その他】

1. 「はじめに—社会教育・生涯学習分野を深く学び、広く生かす」(単著)『2018年度教育学演習Ⅱ・Ⅲ 社会教育学研究成果報告書』第9号、2019年3月.

#### <教育活動>

#### 【学部担当授業科目等】

(学部)「教育学演習ⅡA・ⅢA・ⅢB」(第1部・第2部)、「教育学卒論演習AB」(第1部・第2部)、「社会教育計画論Ⅰ・Ⅱ」(第1部・第2部)、「文化地誌学」(第1部・第2部)、「東洋大学・井上円了と社会教育」(文学部基盤教育科目、東洋大学・井上円了研究、大豆生田稔等と共同担当)、「私学の役割と目的—人間教育の担い手—」

(総合VⅢA1 日本の近代化と東洋大学—井上円了の哲学と実践—、校友会寄附講座、渡辺章悟等と共同担当)

(大学院)「生活文化研究特殊講義A・B」、「教育学研究指導XVIA・B」

#### <学会活動>

1. British Educational Research Association(会員)
2. British Association for International & Comparative Education(会員)
3. 日本教育学会(会員)
4. 日本社会教育学会(会員、ジャーナル編集委員)
5. 日本公民館学会(会員)

#### <社会的活動等>

1. 所沢市社会教育委員
2. 朝霞市男女平等推進審議会委員
3. 所沢市社会教育関係職員研修会「地域で生涯学習を支援する—イギリスの事例を参考に—」(於所沢市役所、2019年2月5日)

## 高野 聡子

#### <研究活動>

#### 【著書】

1. 高野聡子(2019)『シリーズ福祉に生きる久保寺保久』大空社出版.
2. 第2章第3節新分野としての精神薄弱児教育の開拓と理論的・実践的苦闘2(2)~4(2019)中村満紀男編著『日本障害児教育史:戦後編』182-200, 明石書店.

#### 【論文】

1. 高野聡子(2019)戦前期・終戦直後の藤倉学園における精神薄弱児教育及び保護の性格—辺境という視点から問い直す—. 社会事業史研究, 56, 15-23.

#### 【学会発表】

1. 社会事業史学会第47回大会共同論題報告(シンポジウム)「『辺境』から社会事業史を問い直す」シンポジスト.(2019年5月)
2. Satoko Takano(2019) Changes in the awareness of parents with students who have intellectual disabilities in Special Needs Education in Japan: focusing on the analysis of a magazine. IASSIDD 16th World Congress, poster presentation. (2019



年8月)

【研究助成】

1. 井上円了記念研究助成(2019年度)「知的障害特別支援学校の児童生徒数の増加に関する研究:保護者の意識の変化とその特性」(研究代表者)
2. 東洋大学重点研究推進プログラム(2019年度)「つながりがある社会を支える価値と支援システムに関する研究」(研究分担者)

【講演等】

1. 第58回全日本特別支援教育連盟全国大会(埼玉大会)分科会(交流及び共同学習)助言者.  
 <教育活動>

(学部) 特別支援教育基礎論、知的障害教育総論、知的障害教育課程論、知的障害教育論、特別支援学校教育実習、教育学演習ⅡA・B、教育学演習ⅢA・B、教育学卒論ゼミナール

(大学院) 発達障害児教育研究演習A・B、教育学研究指導XVⅡA・B

<学会活動>

1. 障害科学学会(会員)
2. 社会事業史学会(会員)
3. 日本社会福祉学会(会員)
4. 日本特殊教育学会(会員、常任編集委員)
5. IASSIDD(会員)

<社会的活動>

1. 社会福祉法人藤倉学園評議員
2. 社会福祉法人彩会評議員
3. 全日本特別支援教育連盟研究部員
4. 社会福祉法人藤倉学園職員研修アドバイザー(2019年3月まで)

谷口明子

<研究活動>

【論文】

1. 谷口明子(2019). 病弱教育におけるレジリエンス. 育療, 64, 39-47. (2019年3月)
2. 谷口明子(2019). キャリア教育. 日本育療学会(編著) 標準「病弱児の教育」テキスト ジヤース教育新社, 119-130 (2019年4月)
3. 谷口明子(2019). 病弱・身体虚弱児の特別な教育的ニーズと支援 宮川充司・大野久・谷口明子・大野木裕明(編) 子どもの発達と学校 第3版Ⅱ 特別支援教育への理解 ナ

カニシヤ出版, (2019年8月)

4. 谷口明子(2019). 観察(フィールドワークの)サトウタツヤ他(編) 質的研究法マッピング 新曜社, 211-218 (2019年9月)

【著書】

1. 宮川充司・大野久・谷口明子・大野木裕明(編)(2019). 子どもの発達と学校 第3版Ⅰ 発達と学習の心理学 ナカニシヤ出版(2019年6月)
2. 進藤聡彦・谷口明子(印刷中). 教育・学校心理学 放送大学教育振興会

【学会発表】

1. 鷹田佳典・谷口明子・藤澤大介・岡田晃・高橋都・土屋雅子(2019). 就職支援担当者が望む、初めての就職活動を行う小児期・AYA期発症がん経験者の病気開示意思決定支援ガイドの項目. 第1回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会ポスター発表P1-3 (2019年2月)
2. 鷹田佳典・谷口明子・藤澤大介・岡田晃・高橋都・土屋雅子(2019). 就職支援担当者の考える、初めての就職活動を行う小児期・AYA期発症がん経験者の病気開示・非開示のメリット・デメリット. 第1回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会ポスター発表P1-4 (2019年2月)
3. 土屋雅子・藤澤大介・鷹田佳典・谷口明子・高橋都(2019). 小児期, AYA期がん経験者の初めての就職活動における, 病気開示に関する相談支援行動と意思決定支援へのニーズ. 第1回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会ポスター発表P1-2 (2019年2月)
4. 谷口明子・浦野正敬(2018). 病弱教育とゲーミフィケーション 日本特殊教育学会第57回大会自主シンポジウム話題提供, 自主シンポジウム4-14「病弱教育におけるレジリエンス育成(2)—コミュニケーション力育成ツールの開発—」(2019年9月)
5. 谷口明子・砂澤敦子・関多津子他(2019). 病弱教育版コミュニケーション促進ツールの開発 日本特殊教育学会第57回大会ポスター発表P11-01 (2019年9月)

【研究助成】

1. 科学研究費基盤研究(C) (2016年度-2019年度)

「ゲーミングを活用した病弱教育におけるキャリア発達支援プログラム(改訂版)の開発」(研究代表者:谷口明子), 研究代表者

**【講演等】**

1. 東京都立鹿本学園校内研究会指導助言, 2019年1月21日
2. 国立特別支援教育総合研究所専門研修(病弱教育)講師, 2019年2月5日
3. 東京都立鹿本学園公開研究会講演・指導助言, 2019年2月7日
4. 東京都立北特別支援学校公開研究会(病弱部門)講演・指導助言, 2019年2月7日
5. 日本心理学会「認定心理士の会2019第1回関東公開セミナー」講演, 2019年7月6日
6. 2019年度福島県特別支援教育研究会病虚弱教育専門部研究会講演, 2019年7月25日
7. 川越市教育委員会「進路指導・キャリア教育研修会」(東洋大学全国講師派遣事業)2019年7月31日
8. 第59回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会「進路指導・キャリア教育研修会, 高校生支援」分科会指導助言, 2019年8月1日
9. 東京都立北特別支援学校(病弱部門)校内授業研究会指導助言, 2019年8月7日
10. 山梨県立富士見支援学校校内研修講師, 2019年9月1日
11. 国立特別支援教育総合研究所専門研修(病弱教育)講師, 2019年10月31日

<教育活動>

**【学内】**

- (学部) 教育学演習Ⅰ(Ⅰ部), 教育学演習Ⅱ(Ⅰ部), 教育学演習Ⅲ(Ⅰ部), 教育学卒論演習(Ⅰ・Ⅱ部), 教育心理学概論(Ⅰ・Ⅱ部), 生涯発達心理学(Ⅰ・Ⅱ部)
- (大学院) 教育心理学特殊講義, 生徒指導・進路指導特殊講義, 教育学研究指導Ⅱ, 教育学特殊研究Ⅲ, 教育学研究指導Ⅲ

**【学外】**

- (学部) 学習院大学教職課程「教育相談」  
(学部) 立教大学文学部「教育臨床心理学」

<学会活動>

1. 日本教育心理学会(学会誌常任編集委員, 優秀論文選考委員)
2. 日本育療学会(理事・編集委員)
3. 日本質的心理学会(監事)

4. 日本発達障害支援システム学会(学会誌編集委員)
  5. 日本発達心理学会(会員)
  6. 日本小児保健学会(会員)
  7. 日本特殊教育学会(会員)
  8. 日本健康心理学会(会員)
  9. 日本キャリア教育学会(会員)
  10. 日本医療保育学会(会員)(~3月31日まで)
  11. AYAがんの医療と支援のあり方研究会(会員)
  12. American Psychological Association(会員)
  13. International Psycho-oncology Society(会員)
- <社会的活動等>
1. 文部科学省委員会委員(~10月31日まで)
  2. お茶の水女子大学学位論文審査委員会委員(7月20日~9月10日まで)
  3. 東京都立北特別支援学校 学校運営協議会委員(~現在に至る)

**長谷川 勝 久**

<研究活動>

**【論文】**

1. 佐久間 大, 長谷川 勝久(2019):「問題解決における思考支援ツール Reverseの開発」, 日本認知科学会, テクニカルレポート JCSS-TR-82, pp.1-11
2. 佐久間大, 高石哲巳, 今井智貴, 長谷川勝久, 室田真男(2019):「児童生徒のイメージカードを用いた模擬授業のデザイン」, 日本教育工学会論文誌, 43巻2号, pp.91-103

**【学会発表等(学会シンポジウム提案を含む)】**

1. 佐久間大, 高石哲巳, 畠野真理子, 今井智貴, 長谷川勝久, 室田真男(2019):「模擬授業における演技を補助する児童生徒のイメージカードの評価」, 日本教育工学会第35回全国大会発表論文集, pp.457-458

<教育活動>

**【学内担当授業科目等】**

- (学部) 初等科算数、初等教科教育法(算数)、教育評価論、教育評価、教育学演習Ⅱ・Ⅲ、教育学卒論演習、初等教育実践研究AA(通信)教育方法研究(情報機器の活用を含む)
- (大学院) 算数・数学科教育研究演習、算数・数学科教育特殊講義、教育学特殊研究A(教育学研究指導A)、教育学特殊研究B(教育学研究指導B)

## &lt;大学・学部管理運営活動&gt;

1. 高等教育推進委員会委員：教育方法改善部会  
部長
2. 文学部カリキュラム検討委員会委員
3. 井上円了哲学塾運営委員

## &lt;その他&gt;

1. 免許状更新講習講師
2. 東洋大学附属中学・高等学校校内研修講師
3. 附属校合同研修講師

## &lt;主な所属学会&gt;

1. 日本教育工学会（会員）
2. 教育システム情報学会（会員）
3. 日本数学教育学会（会員）
4. 数学教育学会（会員）
5. 全国数学教育学会（会員）
6. 日本科学教育学会（会員）
7. 教育目標・評価学会（会員）
8. 日本教育実践学会（会員）
9. International Society for MSE（理事）他

**藤本 典裕**

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 教員の養成と採用・研修  
『新版（改訂二版）教職入門』藤本典裕編著、  
図書文化、2019年2月1日、pp.115-138
2. 教員の地位と身分  
『新版（改訂二版）教職入門』藤本典裕編著、  
図書文化、2019年2月1日、pp.148-162
3. 学校の管理・運営  
『新版（改訂二版）教職入門』藤本典裕編著、  
図書文化、2019年2月1日、pp.163-186
4. 教育社会学  
『よくわかる社会学（第3版）』宇都宮京子編、  
ミネルヴァ書房（印刷中）

## 【その他】

1. 分科会報告21「教育条件確立の運動」  
『日本の民主教育：教育研究全国集会2018報告集』みんなで21世紀の未来をひらく教育の  
つどい教育研究全国集会2018実行委員会編、  
大月書店（印刷中）

## 【講演等】

1. 「たかがアニメの教育学」西尾市中央ふれあ  
いセンター、2019年8月8日
2. 「たかがアニメの教育学」洋野町民文化会館、

2019年9月14日

3. 「たかがアニメの教育学」町田市生涯学習セ  
ンター、2019年10月23日

## 【学会活動】

1. 日本教育学会（会員）
2. 日本教育行政学会（会員）
3. 日本教育法学会（会員）
4. 日本教師教育学会（会員）
5. 日本教育政策学会（会員）

## &lt;教育活動&gt;

## 【学内】

（学部）教職論（Ⅰ部1コマ、Ⅱ部0.5コマ）、教育基礎論（Ⅰ部0.5コマ）、教育制度論（Ⅰ部0.5コマ）、教職概論（Ⅰ部0.5コマ、Ⅱ部0.5コマ）、教育学演習Ⅱ・Ⅲ・教育学卒業論演習（Ⅰ部1コマ、Ⅱ部1コマ）、教育実習（Ⅰ部、0.5コマ）、教育基礎論Ⅰ（通信教育課程、0.5コマ）、  
（大学院）教育行財政学特殊講義・教育学研究指導（大学院博士前期、1コマ）、教育学特殊研究・教育学研究指導（大学院博士後期、1コマ）

## 【学外】

教育原論（立教大学、0.5コマ）  
教育制度論・教育課程論（立教大学、0.5コマ）  
教育学（法政大学、0.5コマ）  
教育制度特殊講義（お茶の水女子大学、0.5コマ）  
<大学・学部管理・運営活動>  
教職センター専門委員

**矢口 悦子**

## &lt;研究活動等&gt;

## 【その他】

1. 「今求められる『生涯学習』とは」東洋大学  
『Alumni of Toyo University』2019 No. 01、  
2019年9月1日、p.11.
2. 「ワークライフバランス時代における社会教育（プロジェクト研究報告）」『日本社会教育学会通信』2019年12月.

## 【学会発表等】

1. 「プロジェクト研究 ワークライフバランス時代における社会教育」司会、日本社会教育学会第66回研究大会、早稲田大学、2019年9月13日.
2. 「イギリスのラスキン・カレッジにおける青

年教育専門職養成の変容」報告、日本社会教育学会第66回研究大会ラウンドテーブル、早稲田大学、2019年9月15日。

3. World Education Research Association Focal Meeting in Tokyo, August 5-8, 2019. 提出論文概要の事前レビュー、2019年4月～5月。

<教育活動>

【学内担当授業科目等】

- (学部) 生涯学習概論Ⅰ(1部)、同Ⅱ(1部)、教育学演習Ⅰ(1部2コース)、教育学演習Ⅱ・Ⅲ(1部)、卒論演習(1部2部合同)、初等科家庭(1部2コース)、東洋大学・井上円了研究(1回)
- (大学院) 生涯学習計画の研究演習(博士前期課程)、教育学研究指導Ⅰ(博士前期課程)、教育学特殊研究Ⅰ(博士後期課程)、教育学研究指導Ⅰ(博士後期課程)

<大学管理運営活動等>

1. 文学部長(～2019年3月31日まで)
2. 大学院文学研究科委員
3. 東洋大学評議員(2019年3月31日まで)
4. その他 役職上の委員：省略

<学会活動>

1. 日本社会教育学会(会員)
2. 日本教育学会(会員)
3. 日英教育学会(会員)
4. 日本公民館学会(会員)

<社会的活動等>

1. 一般財団法人日本青年館評議員
2. 一般財団法人日本青年館 青年問題研究所専門委員
3. 千葉県浦安市男女共同参画審議会議長
4. 『月刊社会教育』編集小委員会委員(特集企画)